

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		職員間の意思疎通がスムーズに行えていない	伝達事項を滞りなく周知でき、連携のとれたチームワークを可能にする。	3ヶ月に1回、親睦会を定期的に行う。普段からちょっとした事も出勤者で話し合えるよう個々に意識する。また、会議でも積極的に意見を発言して貰えるようどんな意見でも否定しない。	12ヶ月
2		職員が積極的、主導的に働けていない。	職員のスキルアップ	個人面談を行い個々の想い話して貰う。	12ヶ月
3		定期的なカンファレンスが行えていない。	定期的なカンファレンスの実施	ケースカンファレンス、事故カンファレンス等をフロアミーティング(月3回中1回)の中で行っていく。	12ヶ月
4		対応がマンネリ化してきている。	職員個々の対応の見直し	OJTを行い介護の基礎的知識を再度身につける。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	スタッフ間のコミュニケーションの不足により、個々の思いや考えで支援してしまっている事があり、連携がうまく取れていない。ミーティングや連絡帳等でスタッフ間、情報の共有に努めているが、業務の中では、なかなかゆっくり会話(相談等)が出来ていない。	チームワークの向上	新しいスタッフも増えたこともあり、3か月に一回、親睦会を開催し各々が意見や思いを言い(伝え)合える場を作り、交流(親睦)を深め会話を増やすとともにお互いを知る。	12ヶ月
2	49 (19)	家族様と一緒に外出する機会がない。	家族様と一緒に外出してもらえるように外出の企画を作成し参加を集う。	敬老の日前後に、外出の企画を行い、参加しやすい企画内容を作成し、2～3か月前から参加を集う。又は個別で外出(外食等)してもらえるような機会を提案させて頂く。	12ヶ月
3	26	アセスメント(表)を介護計画にうまく生かしていない部分がある。	現状の把握のみだけでなく生活歴や家族の思い等も反映出来るように努める。	センター方式(一部)を使用(様式は検討)。家族様やスタッフ間でのカンファレンスをもとに介護計画に反映していく。	12ヶ月
4	52	空間をうまく使いたい。	目的にあった空間づくりを行っていく。	前回ピープの活用出来なかったため、再度ピープを活用して現在の問題点(気になる所)をスタッフ全員に上げてもらい検討、そこから今後利用者様が利用しやすい、落ち着ける環境へ設営を行っていく。	12ヶ月
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。